2023 年度　事業計画書

活動の基盤となる基本方針は、定款第 3 条（目的）に掲げた「(JVIA の使命は) 国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」ことである。また、今年度は「アクションプラン 2024」の 2 年目に当たる。この中に盛り込まれている「JVIA の存在感アップ」を目指し、昨年度までのコロナ禍での活動自粛を脱し、ポストコロナ時代に向けてＳＤＧｓ を意識した新たな活動を具現化し積極的に取り組んでいく。

1. 生産、流通および保全等の調査研究

安全保障貿易関連情報および会員企業の取り組み情報を収集し、迅速な対応に努める。真空機器の受注・売上統計データの正確性・信頼性向上を図るため JVIA 統計事業への参加を呼びかけ、併せて海外の真空関連諸団体との協力関係の構築・強化を図る。

・国際統計 ISVT ミーティング 2023（米国・オレゴン州）に参加し、国際統計のシステム改善、統計の価値向上を図る。

・短期需要予測、セグメント・地域別の需要予測を行い、ISVT と情報共有する。

・経済産業省と連携し貿易安全保障教育を徹底する。

2. 技術開発に係わる調査研究

真空産業/真空技術が世の中で果たす役割を示すテーマを選定した調査研究を行う。また、真空産業分野の新規事業開拓や異種産業分野における真空関連技術分野の適用の可能性調査を行い、会員企業への情報提供に努める。

・真空展では、(公社) 日本表面真空学会の産学連携委員会と合同で、真空フォーラム・シンポジウムを開催する。

・関西支部では、新技術・新たな産業分野に関わる内容を総会等の講演会のテーマに選定する。

3. 規格の立案および標準化の推進

真空に関連した規格のニーズを調査して、必要があればその草案を提案する。

（公社）日本表面真空学会をはじめ国内関連諸団体と協力して真空関連規格の整備を推進すると共に、海外の真空関連諸団体との協力関係の構築強化を図る。

・(公社) 日本表面真空学会と協力し、ISO/TC112 (Vacuum Technology)の審議状況をプロ

ジェクトごとに、「規格標準合同検討委員会」を通じて共有し、賛成・反対意見、コメントを ISO/TC112 に回答する。

・真空技術に係る ISO/JIS 規格の整備事業を推進し、新規規格の情報を会員に発信する。

・真空展において「規格標準報告会」開催し、規格の動向、問題点、技術解説を実施する。

4.環境および安全に係わる調査研究

ＳＤＧｓを意識した環境保全等の活動を通して、会員企業による環境に配慮した開発、製造、販売を推進する。また、JVIA ホームページ・真空ジャーナルによる環境保全関連の資料公開等により会員企業の環境活動のサポートを行う。

・環境活動アンケートを実施し、環境活動報告書 2023 を発行する。

・「真空ウォーキングコース」の実習教育を通して、真空機器の取り扱い方法、作業時の安全教育等製品安全教育を実施する。

・真空展における「環境トピックス」、「安全教育講座」、環境教育講座（SEAJ と JVIA の合同企画）、「安全教育講座」（関西）等を通じて会員企業への啓発を行う。

・過去に発生した事故事例や不具合改善事例等の資料提供を行う。

5.真空産業に関する普及および啓発

真空展は中長期の視野に立った運営企画を企画し、出展社数・来場者数の増加を目指して他団体との同時開催とする。魅力ある主催者ゾーンおよび基調講演を企画し、また（公社）日本表面真空学会と合同で真空フォーラム･シンポジウムを開催し、会員各社にビジネス展開に有益な情報を発信する。また、JVIA 主催の各種イベントを、JVIA ホームページ、真空ジャーナル、JVIA メールニュース、新聞広告などを通じて啓発活動を行い、存在感のアップを図る。

・VACUUM2023 真空展（11 月 29 日～12 月 1 日、東京ビックサイト）を開催する。

・第 28 回「真空ウォーキングコース」（8 月 28 日～9 月 1 日、実習で体験する真空基礎講習会）は、昨年より受講者数を増やして開催し、真空技術基礎教育の充実を図る。

・今年度新たな「新演習講座・真空排気系計算コース実践編」（4 月 14 日）を立ち上げ、「真空ウォーキングコース」の次の講座としての成長を目指す。

・真空展において「はじめて真空」「真空入門講座」を開催し真空技術の啓発と普及を図る。

6. 内外関係機関等との交流および協力

国内関連諸団体と、情報交換会やセミナー等の協力共同事業を通じた交流を行う。特に（公社）日本表面真空学会とはさらなる交流を強化し、産学連携の協力体制を構築し真空技術の普及に貢献する。また、国際規格整備や売上統計事業などにおける韓国、中国、台湾、欧州、米国の真空団体との交流を通して JVIA 活動のグローバル化を推進する。

・経済産業省との情報交換を密に行い、関係する通達や情報は「JVIA 通信」等を通じて遅滞なく会員に周知し政策提案やアンケートへの協力等について積極的な活動を努める。

・会員に有益な情報は「JVIA ホームページ」「JVIA 通信」「JVIA ニュース」を通じて会員への展開を図る。

・「中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書」の発行認定団体として引き続き活動する。

7. JVIA の目的を達成するための必要な事業

理事・監事および会員各位の協力を得て、JVIA 会員の増加に努める。関西地区および関東地区の若手交流会や会員の相互交流に役立つ健全な活動を支援する。JVIA ホームページが即時に情報発信できる機能を利用し、JVIA の広報活動を行う。

・会員勧誘活動の体制強化を図る。

・2025 年創立４０周年に向け、企画委員会を中心にプロジェクトを立ち上げ準備を開始する。

・総会懇親会、サプライヤ交流会、東西若手交流会、賀詞交歓会、国内外の企業見学会等を開催し、産学連携を活性化させて潜在ビジネスの掘り起こしを行う。

・JVIA 活動の活性化のための適正な予算・規程を定め、進捗・遵守状況を確認する。

・優れた（価値ある）技術、技能を発掘し、真空技術の発展・普及に貢献した企業・団体・個人を表彰する。

・各各種補助金事業取得支援講習会(サポイン等)開催情報等の迅速な情報提供を行う。

以　上